

奈佐小を五荘小に統合

準備委員会を初開催

1月21日、五荘小学校会議室で、五荘小学校と奈佐小学校の統合に向けた第1回準備委員会が開催されました。

昨年12月、奈佐地区区長会長と奈佐小PTA会長が、統合要望書を市に提出。第1回委員会では、委員委嘱や役員選出の他、奈佐からの申し出で、奈佐小を五荘小に統合し、校名や校歌などは五荘小のものを使用することが決められました。今後は、来年4月の統合を目標に、交流事業の実施や通学方法、閉校に関する行事などについて協議が進められます。

《問合せ》教育総務課 ☎23-11117



▲委員長は奈佐地区区長会長の深山義行さん。委員は地区やPTAの代表、学校職員ら

広報とよおか

県コンクールで入選

県と県広報協会が主催する、県内各市町の広報紙を対象にした第67回兵庫県広報コンクールで、広報とよおか10月号(9月25日発行)で第0回豊岡演劇祭を撮影した写真が、広報写真部門「組み写真の部」で入選しました。

同部門には県内17市町から応募があり、入選は上位2番目に当たります。審査講評で「舞台だけでなく会場周辺の様子を交え、イベントの熱気を伝えている。モノクロの良さもあるが、カラーでも見たいと思わせるところが惜しい」と評価されました。

《問合せ》秘書広報課 ☎21-9035



▲広報とよおか10月号2~3ページ「第0回豊岡演劇祭」

中貝市長の徒然日記 ⑬

インフル始末記

インフルエンザで自宅に5日間軟禁されました。発熱は、不覚にも成人式の前日。新成人にウイルスをまき散らすわけにはいきません。式典で代理を頼むことにしました。

が、しかし。ほくには、新成人に伝えたいことがありました。しかも、副市長は、前日の夜にあいさつのピンチヒッターを告げられ、重責に打ち震えているかもしれません。40度の熱の中、原稿を書くことにしました。

当日。最近では、開会直前に約15分間、市の未来についてスライドを映しながら話すことから「予定していた市長の講話は、都合により取り止めさせていただきます」とアナウンスがあると、会場はざわめきました。餅をのどに詰めたのか？ドクターヘリで豊岡病院に運ばれたのか？様々な憶測が流れました(と思われる)。事態を重く見た副市長が、

あいさつの前に「市長は、インフルエンザです」と補足すると、「なあんだ」と会場がどつと沸きました。

伝えなかったメッセージです。「皆さんの多くは、高校や中学で私の授業を聞いたことがおありになると思いますが。その中で、豊岡は『小さな世界都市』を目指している、とお話しました。私たちは、今もその旗を掲げ、まちづくりを進めています。最後に、今は豊岡を離れている方々に一言申し上げたいと思います。故郷は、いつまでもこの地で、皆さんの故郷であり続けたいと願っています。いつか、きっと、帰っておいで」

副市長には、最後の部分を一言ずつ区切って読むように指示したのであります。

成人式より前に、ある高校の13人の卒業生が親子で集まり、前祝いをしたそうです。「市長、そのうち実に8人が、大学を卒業したら帰ってきた」と言っていました。その場に居合わせた市の消防職員から聞きました。それは、何よりもうれい報告でした。